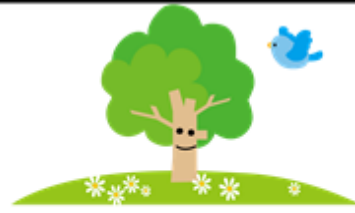


けやき



高井戸小学校 けやき学級

TEL&FAX 03-3334-1299

No. 387 R元. 6. 3.

6月といえば、「梅雨」「紫陽花」「衣替え」などの季節の言葉が連想されてきましたが、ここ数年、日本の穏やかな四季はいつの間にか大きく崩れてきています。5月末に運動会が行われた学校が多くありましたが、気温が30度を超える暑さとなり、「熱中症」への対策も様々に行いながらの春の運動会でした。子供たちだけでなく、保護者の皆さま、成人の方々も、水分補給や睡眠など体調管理に気を付けてお過ごしください。

加えて、児童に降りかかる凄惨な事故、事件も起きていますので、くれぐれも、安全管理、命を尊重する意識を高めて、笑顔と健康に溢れた日常生活が送れるようにお互いに心がけましょう。

6月(と7月前半)の予定

日	月	火	水	木	金	土				
1 (土)	3	午前	4 ブロック	5	午前	6	午前	7	午前	8 高井戸小
2 (日)		午後	研究会		午後		午後		午後	土曜授業
9	10	一部	11	12	13	14	15			
	入級検討部会		専門研究会	全体交流会	交流会					
16	17	18	19	20	21	22				
	通級指導 公開期間始	区難言定例研		救命講習	通級指導 公開期間終					
23	24	25	26	27	28	29				
	けやき 面談週間始	難言通級 指導研究会	難聴学級 中央ろう学校訪問		けやき 面談週間終					
30	1	2	3	4	5	6				
		ブロック研究会	難聴学級 小中交流会		1学期 個別指導終了					
7	8	9	10	11	12	13				
	一斉検査 相談期間始	専門研究会				高井戸小 土曜授業				
14	15	16	17	18	19	20				
	海の日			一斉検査 相談期間終	高井戸小 終業式					

けやき わくわく 夏祭り (全体交流会)

日時: **6月12日(水) 15:00~16:30 (受付 14:45~)**

年に2回、通級児童の交流の機会です。ヨーヨー釣りやスイカ割りゲームなど夏祭りのような楽しいイベントです。参加児童、保護者の方にも、ご活躍いただきみんなで交流を深め、楽しい会になるよう計画しています。詳細は、お知らせをご覧くださいの上、お集まり下さい。

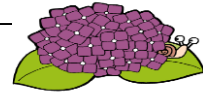


けやき学級指導公開期間 公開期間:6月17日(月)~21日(金)

在籍学級の先生方に、通級指導の様子をご覧いただく「指導公開期間」を設けています。是非、この機会に、通級指導中の児童の様子やけやき学級の様子などご参観ください。ご来級いただく詳しい日時は、対象児童の通級日時となります。各担当者と連絡を取り合ってください。お待ちしております。



1学期 個人面談週間 6月24日(月)～28日(金)



昨年7月に行っていた個人面談を6月下旬に行います。面談日の希望調査用紙を配布します。都合の良い日をお知らせください。皆様のご希望を伺って調整させていただきます。通級児の理解や指導に役立てていきたいと考えています。ご協力よろしくお願いたします。



～～～子どもの行動を理解し支援するために～～～

「聞く力」を考える

「聞くカトレーニングブック1・2」 マインEラボ・スペース発行より

<聞くことが苦手な理由>

「さっき言ったでしょ。」「どうしてちゃんと聞いてないの!」と注意することはありませんか?

しかし、聞く段階では、その子なりにしっかり聞いていたという場合もあります。

では、なぜ「忘れて」しまうのでしょうか?



- ★一つ目には、記憶力の弱さが考えられます。「話が長くなると、一部忘れてしまう。」「複数の指示が重なると、どれかを忘れる。」などの場合には、「記憶力が限られているかもしれない。」という点に気を付けて、指示や説明を短くすることも必要です。
- ★二つ目には、言葉の理解の苦手さが考えられます。記憶力がよくても、話が理解できない場合には覚えられません。言葉そのものの意味が分かっていなかったり、話の流れがつかめなかったりするため、聞いていても意味が分からないケースです。この場合には、分かりやすい言葉に置き換えたり、途中で話をまとめてあげたりすることに加え、ことばの発達を促す取り組みを根気よく重ねていく必要があります。話の理解には、語彙力と知識量、文のつながりを理解する力、話される場面をとらえる力など、多くの力を必要とします。これは、子供も大人も同じです。
- ★三つ目には、不注意が考えられます。話に注意を向け続けることが、困難なばかりでなく、話者の方を見ている、話に注意が向いていないこともあります。話を聞く時には、話者の方を向くことが基本ですが、聞くことが苦手なお子さんは、「見ているけれど聞いていない。」ということがよくあります。話そのものに注意が向いていないのに、話者の方を見ているため、「聞いていたはずなのに・・・」という誤解が生じやすくなります。



以上のように、聞くことが苦手な理由も様々です。お子さんの状態像を環境要因も含めて、客観的に見極め、より効果的な対応方法を検討することが大切です。

<聴覚過敏>



聴覚過敏は感覚過敏の一つで、街の中の音や生活音にともなう音、周囲の人の話声など、多くの人があまり気にせずすむ音を、不快な音として拾ってしまう状態です。

たとえば、「個別では聞き取れるけれども、一斉指示だと聞き取れない。」などの状態は、教室の中でプリントをめくる音、周囲の子の話し声、他の教室から聞こえてくる笛の音など、様々な音に反応して、聞くべき声に注意が向けられなくなることが原因とも考えられます。

対応としては、指示を個別に出すことや、耳栓の使用を検討する(耳に違和感がなければ)、できるだけ静かな学習環境を整備する、騒音が続く場合には静かな場所で休憩をとるなど、子どもに合わせた方法を検討・工夫してみましよう。